
essais ころみ New 2026年3月

2026年3月2日（月） 曇

昨日の昼は半袖で歩いている人もいたけど、今日は風が冷たい。今週はけっこう気温が下がるようで、冬物はまだしまえない。

— おさらい独習 「六十四卦」 — 32.恒

「こう」。解説によれば、「恒とは恒常不変のことであり、安定した結婚生活を意味する」。

訳者がこの卦につけたタイトルは、「変化なき生活—結婚」。ただし、人間安定すると、「波乱を求める心が動く」。

続けて、「危険な誘惑を退けなければ、恒久の道は得られない」。

さらに釘をさす、「何ごとも初心を忘れず、新奇なものに惑わされることなく方針を一貫してゆくことが肝心である」。

原文卦辞には、「一貫して道を守る者には順調なのである。天地の道をまた恒久不変、やむことがない」。

さらに、「一つが終われば一つが始まる。この間断なき変化の過程に即して進み行くなれば万事順調である」。

結びがいい、「変化のなかにこそ恒久がある。それぞれの恒久とする所を見究めるならば、天地万物の真の姿を知ることができる」。

君子の心得を説く「大象」には、「君子はこの卦象をみて、自己の立場をしっかりと定め、方針をぐらつかせることはない」。

さて、この「恒」は、前回31番目の「人間関係」をさらに深めた「信頼関係」をあてるとしよう。

（事象） 信頼関係。人間関係を続けるうちに時々行き違いも生じようが、その都度解消につとめていけば、深い信頼関係を築ける

（心得） 安易に諦めない。相手への敬意をうしなわず、双方の理解が進むよう努める

(構え、パノラマ)

- 一、焦らない。信頼関係に発展するには紆余曲折、時間を要する
- 二、バランスを保つ。ビジネスライクに偏らず、個人と個人の対等な関係性も大切にする、
- 三、輦蹙をかう。つい、なれなれしい態度になり、嫌悪感を露にされ
- 四、関係が中断する。自分の利益を優先して、相手にしがみつki、遠ざけられる
- 五、相手の言いなりにならない。謙虚さ、寛容さを大切にしつつ、異論や反論を臆せず伝える
- 六、信頼が揺らぐ。大きな仕事の案件に凡ミスがみつき、あわや大失態を招く

以上、「恒」のおさらい。信頼関係を築く、これもまた『言うは易く行うは難し』。

今から10年前にクレオ大阪さんのセミナーで『ビジネスセンス塾』の講師を担当した。

テーマの一つに「信頼関係」を挙げた。一つの型にはめたハウ・ツーで事が足りるものでないから、誰にとっても永遠のテーマ。